

2012 Formula Nippon Rd.6
SPORTSLAND SUGO
22 SEPTEMBER 2012

予選

観客 : 5,400 人 (天候 : 晴)



全日本選手権フォーミュラ・ニッポン第6戦SUGO大会において PETRONAS TEAM TOM'S の中嶋一貴が 4 番手、アンドレ・ロッテラーは 5 番手から決勝をスタートすることとなった。

- 中嶋が朝の練習走行でクラッシュを喫し、チームは迅速に修理をして予選に送り出した。
- ロッテラーはセッション毎にセットをアジャストして Q2 と Q3 で 5 番手を獲得した。
- 中嶋は予選の好調さを維持して、決勝を 2 列目からスタートすることとなった。

Drivers	Car No.	Q1	Q2	Q3
Andre Lotterer	1	P10 1:08.024	P5 1:07.435	P5 1:07.486
Kazuki Nakajima	2	P3 1:07.488	P7 1:07.503	P4 1:07.329

Weather	Sunny	
Temperatures	Air: 23-24 °C	Track: 34-27 °C

アンドレ・ロッテラー (Driver for car No.1)

“ここ菅生では厳しい予選だった。このコースではセットアップのスイートスポットはとても小さい。基本的に我々の菅生のセットアップは良かった。少しずつセットを変えて Q3 に向けてはタイヤの空気圧をほんの少しを変更して 5 番手を獲得できた。マシンの調子は良いが、フロントローのチーム・ダンデライアン の 2 台はすごく速い。明日のレースではチャンピオン連覇に向けて、良いスタートを決めて出来るだけ多くのポイントを獲得したい”

中嶋 一貴 (Driver for car No.2)

“朝の練習走行でクラッシュしてしまったが、スタッフの迅速な修復作業のお陰で予選に間に合った事に対し、本当に感謝している。Q1 からマシンの調子は良かったが、Q2 では 7 番手で何とか Q3 に進出できた。Q3 に向けて再びセットを修正して二列目を獲得することができた。昨年に比べれば、菅生での走りに関して進歩を遂げている。菅生は抜きにくいサーキットなのでスタートが重要と考えている”

東條 力 (Engineer for car No. 1)

“今日の菅生は、セッション毎の気温の変化に合わせるセットアップが大変だった。もちろん Q3 にベストになるようなセットアップを施した。しかし、ロッテラーがウォームアップ中に遅いクルマに阻まれて影響を受けた。ロッテラーなら 5 番手からでも順位を上げてくれると思う。チャンピオンへ向けて再びポイントを稼ぎたい”

小枝 正樹 (Engineer for car No. 2)

“予選が開始される直前に、クラッシュの修理作業を終えることが出来た。マシンの調子は良くて Q1 から中嶋がタイムを出してくれた。セッション毎にセットを修正して 4 番手タイムを叩き出してくれた。忙しい一日だったが、決勝を二列目からスタートしてくれる。明日の天候が分からないが、再び決勝でも頑張りたい”

館 信秀 (Team Director)

“中嶋が 4 番手、ロッテラーが 5 番手からの決勝スタートは悪くはない。しかし我々は、常に最高の結果を求めている。だから、二列目、三列目というスタート順位に複雑な気持ちだ。チームスタッフが頑張った朝の練習走行でクラッシュした中嶋のマシンを治してくれた。スタッフは、本当に良くやった。再び明日は良い成績を残せるだろう。チーム一丸となってチャンピオンへ邁進する”

2012 Formula Nippon Rd.6
SPORTSLAND SUGO
23 SEPTEMBER 2012

RACE

Spectator : 8,400 (Weather : Rain)



スポーツランド SUGO で行われた全日本選手権フォーミュラ・ニッポンシリーズ第 6 戦において、PETRONAS TEAM TOM'S の中嶋一貴は、5 位。アンドレ・ロッターは、10 位でチェッカーを受けた。

- 激しく降る雨の中、決勝はセーフティカー先導でのスタートとなった。
- 4 周に亘り、セーフティカーに先導された後に切られたスタートで両ドライバーはポジションをキープしてレースは始まった。ロッターは、早めにルーティンのピットストップを行った。
- 中嶋はピットストップの後も順位をキープして走行を続けたが、2 回目のセーフティカーランの後、ラスト 5 周の時

点で前を走るクルマに行く手を阻まれ、ロッターと接触してしまった。

Drivers	Car No.	Result / Fastest Lap
Andre Lotterer	1	P10 1:23.284
Kazuki Nakajima	2	P5 1:22.887

Weather	Rain	
Temperatures	Air: 18-17 C	Track: 20-19 C

アンドレ・ロッター (Driver for car No.1)

“今回は大変なレースだった。スタートからゴールまで視界がとても悪く、グループの中で順位を上げることなく埋もれてしまうのを避けるために早めのピットストップを行い、視界の良いところで走行を続けたかったが、コースに復帰して他のグループに入ってしまった。マシンの調子もあまり良くなく、コース上に留まることが大変だった。二回目のセーフティカーランが終わり、リスタートしようとした最終コーナーで、何台かがゴチャゴチャになっていた。自分も巻き込まれてコースオフしてしまった後、1 コーナーに中嶋と共に進入して接触してしまいスピンした。ポイントを獲得できなかったのは残念だがチャンピオンはまだ決定していない。鈴鹿では勝ってチャンピオンを決めたい”

中嶋 一貴 (Driver for car No.2)

“今週末は自分がイメージしたようなものとはならなかった。スタートのポジションをキープして出来るだけポイントを稼ぐつもりだった。セーフティカーランの後、最後の5周で再スタートが切られたときに<SC>ボードがまだ提示されていたので前車を抜くのを止め何台かが詰まってしまい、大嶋とロッターと一緒に1コーナーに進入することとなり、ロッターと自分が3コーナーを回ったところで接触してしまった。自分は依然として選手権をリードしているので鈴鹿は文字通り決戦だ”

東條 力 (Engineer for car No. 1)

“ロッターを早めにピットインさせたがその作戦はうまく行かなかった。ロッターの SUGO におけるペースは、ひどい水しぶきのために上がりず追い抜きもできなかった。また、スタートからゴールまでグリップ感の無さに苦しんだ。最後に中嶋と接触してスピンしてポイントを稼げなかったが、彼はまだ選手権の3番手に位置している。鈴鹿ではタイトルを獲得”

小枝 正樹 (Engineer for car No. 2)

“マシンの状態は悪くなかったが、1-2 フィニッシュしたダンデライオンのクルマほどは速くはなかった。中嶋は順位をキープしながらピットストップまでうまく燃料をセーブして走行し、早いピット作業をやったのけた。最後に思ってもみなかった出来事の一つポジションを下げてしまった。鈴鹿ではチャンピオンを獲りに行く”

館 信秀 (Team Director)

“フラストレーションの溜まる週末だった。いつもは決勝では強さを見せられるのに、今回はそうではなかった。中嶋とロッターの接触については何も語るつもりはない。両ドライバーはタイトルを争っているのだから。最終戦ではトムスのドライバー達が素晴らしいレースを展開してくれることを期待している。そして、我々は 2012 年も再びタイトルを獲得したい”